Rotary

2015~2016 RIテーマ
世界への
プレゼントになろう

国際ロータリー第2730地区

都城西ロータリークラブ

会長　吉田　努　　幹事　前田　吉基

2015~2016年度 クラブテーマ 『さあ、始めよう!』

週報　第１９０８回
平成２７年１０月７日

都城西ロータリークラブ
創立1976年3月10日
例会場:毎週水曜日 ホテル中山荘
Tel 0986-23-3666
事務局:メインホテル4F
Tel 0986-25-0834
E-Mail:rc2730@lily.ocn.ne.jp

点鐘

合唱　国歌・奉仕の理想

ゲスト紹介
◆米山奨学生
邢　林 さん(ケイ　リン)
◆世話クラブカウンセラー
牧元　　悟 氏(都城中央 RC)

ビジター紹介　なし

□会長の時間　　吉田　努

みなさん、こんにちは。

10 月は経済と地域社会の発展月間、米山月間となっております。本日は米山奨学生の邢林君に例会に参加してもらっています。後ほど卓話を頂きます。

公益財団法人ロータリー米山記念奨学会とはどのような組織なのでしょうか。その前にこの奨学会の冠にもなっている米山梅吉さんを紹介しなければならないでしょう。

米山梅吉は、東京ロータリークラブの設立者です。ということは日本にロータリーを作った人ということになりますね。幼いころに父親を亡くし、故郷静岡に戻り母親に育てられます。大変優秀であったため、静岡で４００年続く米山家と養子縁組を結び、二十歳の時に８年にも及ぶアメリカ留学へ旅立ちます。日本に帰ると三井銀行へ入行し、常務取締役まで勤めのちに三井信託株式会社の初代社長に就任します。

晩年は、財団法人三井報恩会の理事長となり、ハンセン病・結核・癌研究の助成など多くの社会事業・医療事業に奉仕しました。また、子どもの教育のために、はる夫人と共に私財を投じて小学校を創立しました。”何事も人々からしてほしいと望むことは人々にもその通りせよ” これは米山梅吉氏の願いでもあり、ご自身の生涯そのものでした。” 他人への思いやりと助け合い” の精神を身もって行いつつ、そのことについて多くを語らなかった陰徳の人でした。

さて、米山奨学会に戻ります。米山奨学会とは、1952 年 12 月、米山梅吉氏の功績を記念して、東京ロータリークラブが設立したものです。奨学制度の対象になる者は勉学・研究のために日本に在留している私費外国人留学生です。日本全国のロータリアンからの寄付金を財源に奨学金を支給し支援する、日本最大規模の民間の奨学財団です。年間の奨学生採用数は 720 人、事業費は 12.4 億円（2013-14 年度決算）と、国内では民間最大の国際奨学事業となっています。（事業費/採用数 1,720,000 円）

これまでに支援してきた奨学生数は、累計で 18,648 人（2015 年 7 月現在）。その出身国は、世界 123 の国と地域に及びます。12.4 億円の財源を全国 88,000 人のロータリアンで賄うと１人当たり 14,000 円となります。

寄付金には普通寄付と特別寄付があります。普通寄付とは会費の中から強制的に一律引くものです。特別寄付とはその年の米山委員長が皆さんにお声掛けをして集めるいわゆる善意のお金であります。米山奨学生には「世話クラブ」が設定されます。今回は都城中央クラブです。そして個人的なケアを担当するカウンセラーが付きます。米山奨学生は世話クラブの例会 に月に一度出席し、ロータリー会員と積極的に交流して国際交流・相互理解を深めるとともに、ロータリーの奉仕の心を学びます。

そして私たちは奨学生と会うたびに米山梅吉さんが話されたことを思い出します。「今後、日本の生きる道は平和しかない。それをアジアに、そして世界に理解してもらうためには、一人でも多くの留学生を迎え入れ、平和を求める日本人と出会い、信頼関係を築くこと。それこそが、日本のロータリーに最もふさわしい国際奉仕事業ではないか」

それから 60 年余の歳月が流れましたが、” 民間外交として世界に平和の種子を蒔く” という米山奨学事業の使命は一貫して変わっておらず、私たち西クラブも東蔚山クラブと姉妹クラブを 30 年に渡り民間外交を続けています。むしろ、今日の世界情勢と日本の置かれている状況を考えるとき、その使命はますます重要性を増しているのではないでしょうか。留学生への支援は、未来に向かって平和の懸け橋をかける尊い奉仕なのです。どうかご理解を頂き、外山委員長が掲げる一人 15000 円の目標を達成し世界の平和に貢献しようではありませんか！

※世話クラブで行われること
米山奨学生は月に 1 回例会へ出席
奨学金の受け渡し
スピーチその他、親睦活動・奉仕活動への参加など

シンボルマーク

□幹事報告　　前田　吉基

●野中ガバナー事務所…

①2015-16 年度 地区大会（10/16（金）～18（日））
開催について最終のご案内

1．10 月 18 日（日）の第２本会議会場を
ホテルメリージュ延岡→延岡総合文化センターに変更。

2．プログラムの時間変更について
・16 日（金）記念ゴルフ大会　受付開始時間
× 7：00～　→　08：00～
・17 日（土）地区諮問委員会　開会
× 8：00～　→　07：30～
・第１本会議　開会告知
×12：00～　→　12：05～
・家族プログラム　コース変更
×14：45～　→　15：10～

3．「クラブ旗」持参のお願い
今回はクラブ紹介の入場セレモニーとしまして、代表の方にクラブ旗を持って入場していただきます。

4．昼食時間及び昼食場所について
＊昼食の事前予約のお弁当は、10 時より各クラブ受付の際お渡しいたします。
＊食事場所は展示室２及び友愛の広場の空いている席で、開会時間までに昼食をお済ませください。

5．当日の駐車場について
会場につきましては、別紙駐車場地図をご参照ください。

②第 3000 地区（インド）と当地区と地区財団活動資金（DDF）を利用し実施する事になりました。
「健全なる精神に向けての私達の使命プロジェクト」報告

③ガバナー月信　１０月号

●ロータリーの友　１０月号

■クラブ報告

●10/21（水）１１月定例理事会　例会前　１１：００

□出席報告

会員数	43 名	
出免数	3 名	
出席数	30 名	
出席率	75.00%	
前々回修正出席率	9/16	85.00%
前回修正出席率	9/23	休会
届出有	徳重　永野　中原　中山　和田	
届出無	中村七　小田　柳　鳥集　福本	
MU有会員 9/27　少年野球 閉会式 10/1　中央 10/2　都城 10/6　北	 井福　小俵　小坂　鎌田　髙橋　高辺 徳重　外山　中原　平川　船木　前田 馬渡　柳　吉田　吉原 なし なし なし	
MU無会員 9/23	休会	
要MU会員 9/30	和田　中村七　小田　鳥集　福本	

□委員会報告

なし

■本日のプログラム

支援プログラム委員会　担当
米山奨学生　卓話

米山奨学生
邢　林 君

世話クラブ
カウンセラー
牧元　悟 氏
(都城中央 RC)

※別紙に記載しております。

□SAA 報告

◆ニコニコ箱◆
吉田　努…邢林さん、牧元さん今日はありがとうございました。地区大会で会いましょう。
馬渡　浩志…本日は歓迎会を企画して頂きありがとうございます。

◆米山奨学会◆
高辺　晃也
吉原　信幸…米山奨学生ケイリン君今日はようこそ都城西クラブへ。すばらしい日本語でした
椙松　豊治…牧元様ご苦労さんです。追加分です。
長友　喜信…米山月間にちなんで

◆教育振興基金◆
上田やよい…教育振興にお手伝いが出来て幸いです。

◆40 周年準備金◆
前田　吉基…邢林さん大変すばらしい卓話を有難うございました。今度もあきらめずめげず頑張って下さい。

◎今後のプログラム

10／21　地区大会報告　会長・幹事
10／28　新入会員卓話　クラブ運営管理(広報)委員会担当

	9/30	計
ﾆｺﾆｺBOX	3,000	88,950
ｺﾞｰﾙﾄﾞBOX	2,550	30,590
ﾛｰﾀﾘｰ財団	12,400	130,200
米山奨学会	5,000	98,000
教育振興基金	5,000	85,000
４０周年準備金	5,000	65,000

雑誌会報・インターネット・広報委員会
徳重　幸男・東　　淑恵

学生生活で感じたこと及び日本留学の成果

米山奨学生　邢　林(ケイ　リン)

皆さん、こんにちは。私は宮崎大学大学院・工学研究科・電気電子工学専攻・電子材料研究室に所属している修士課程２年の邢 林（ケイ リン）と申します。今は 26 歳です。中国の中央部にある河南省洛陽市出身です。中国で高校を卒業して、2008 年 10 月７日（火）の日から、日本で留学を始めて、今日で、ちょうど 7 年になりました。この 7 年間の在日留学経歴により、私は「粘り強さ」を身につけたと思います。「何事も努力を惜しまず、諦めずに継続する」ということは私の長所だと思います。

幼い頃から漫画、アニメ、ドラマ等の日本文化に触れることが多くありました。日本に親近感を持っており、特に日本の文字ー「漢字と仮名」及び伝統音楽ー「演歌」に熱中していましたので、高校時代から独学で日本語を学んできて、いつか日本に行くことを夢見ていました。また、父は電力工事技術者として、中国の企業で働いており、子供の時から父の仕事の影響で、将来自分も立派な技術者になることに憧れていました。こうしたことを考えると、日本は距離的にも、文化的にも中国と近く、工業技術先進大国で、様々なところが優れていることもあり、また、私にとっては、勉強になりますし、もっと成長できると考え、自分の人生を豊かにするために、視野を広げるために、留学先に日本を選びました。

来日後、まず、京都での日本語専門学校に１年半に通い、日本語を習いました。その後、大学入学試験を受けました。大学を選んだとき、私は、母国での資源の枯渇問題や CO_2、PM2.5 等の環境問題に強い関心があったため、クリーンエネルギーを生み出すことが出来る「太陽電池」に興味を持つようになりました。宮崎大学・電気電子工学科では、「太陽電池」の専門的な研究を行っていますので、宮崎大学の電気電子工学科を志望しました。学生時代の私は、アルバイトしながら、自信を持って、一筋にこつこつと勉学に勤しんでいました。その中で、学部３年生の夏休みに、私は幸運に四国地方の企業ー「四国電力株式会社」で、２週間のインターンシップに参加しました。このインターンシップで、何よりも座学では、身に付かない、実際に業務で必要なスキルを習得しました。更に、日本企業の文化、習慣、及び団体協力の精神を実践で体験し、理解しました。また、この大学４年間においては、学業のみならず、日本語能力が高まるにつれて、日本の文化に対して理解が深まり、コミュニケーションの際に、相手に自分の考えを理解してもらうような企画技術を経験し、相手の話している様々な内容を異なる立場で考えられるようになったと思います。これらを通して、もっと勉強したいという探究心が強くなり、大学院に進むことを決心しました。

大学院での研究で、私は主に半導体を中心とする新材料の開発、評価に関する研究を行っております。現段階では、「SiO_2 薄膜付き Si 基板上への GaAs 結晶の成長条件とその形態の構造」というテーマをめぐって、研究を行っております。簡単に言いますと、半導体ウェハ材料としての Si 基板上に、化合物半導体 GaAs を化学薬品でのエッチング処理や成長装置を通し、うまく成長させるという手法が確認されています。もし、以上の研究を確立すれば、これから、私たちの生活と密接な関係にあるパソコン、スマートフォン、スマートカー及びソーラーパネル等の電子製品に利用される発光ダイオード（LED）、光電子移動度トランジスタやレーザトランジスタなどの電子部品の更なる小型化、精密化という技術力の発展を目指せると考えており

ます。この研究目標のために、私は学部４年生から今まで、研究室で２年半程、担当教授からの指示に基づき、実験、データ処理・解析等の研究を行っており、実験結果に対して、いつも積極的に担当教授や先輩、後輩達と議論しています。これらのおかげで、問題に対する発見・思考・解決という原因解明の能力が洗練されたと思います。更に、実験課題やデータ解析などに対して、必ず、１日の結果や翌日の準備を欠かさずに行うようにしています。このようなことのおかげで、去年 12 月、私は研究室及び大学を代表して、「九州地方応用物理学術講演会」に参加して、自分の研究内容について発表することができました。自分の人生に対して、素晴らしい経験を積んで、達成感を味わうことを通じて、「何事も努力を惜しまず、諦めずに継続すること」が出来るようになりました。

また、日常生活の面で、平日は、講義やゼミ以外に、研究室で実験を行って、その実験データを分析したり、処理したりします。週末は、趣味のクラシックギターを弾くことやジョギングすることなどを行っており、リフレッシュを図っています。特にクラシックギターは中学校１年生のときから、継続しており、今も週に１度、２時間程度で欧米のルネサンス音楽や日本の演歌を演奏します。このように、平日と休日のメリハリをつけることで、過ごしています。

これ以外に、在日７年間の学生生活のうちに、私はずっと「日本での就職を目標として日本語の習得と日本社会に慣れ親しむ」という目標を取り組んでいました。この方法として、学校での学業以外に、日本人が多い環境でのアルバイトで実践訓練することから始めました。アルバイトは、まず、レストランのウエーターをやり、続いて、冷凍食品製造工場の従業員やコンビニエンスストアの従業員をやりましたが、特にコンビニエンスストアの仕事においては、３年間程にわたって、自分から積極的にコミュニケーションを取るようにして、仕事を覚えていきました。例えば、分からない言葉がある場合、メモを取り、家で意味を調べて、発音練習をしました。また、コンビニエンスストアの「宣伝ポスターの作製や商品販売量のランキング等」のイベントを開催の際に、従業員同士間の「チームワーク」を取って、いつもすばらしい結果を得ることができ、うれしかったです。このように、日本の方々と多く関わる機会を得たことで、遥かに日本語が上達したと思いました。また、今年の３月から、私は大学院修士課程の最終年度の生活になると同時に、就職活動も迎えました。就職活動を通して、自分のことを十分に理解することができました。もちろん、沢山の壁に突き当たって、社会の競争状況を理解させていただきました。しかし、私はめげずに、諦めずに、７ヶ月の苦戦で、やっと理想的な会社の内定をもらうことができました。

それ以上に、学生時代に様々な経歴により、日本の社会習慣、礼儀、サービス精神や協調精神等を実践で身につけることができたと思います。今後、日本企業での仕事の中でも、様々な方々と接するときに活かせると思います。

今回、学校の推薦とロータリー米山記念奨学会の選抜面接により、幸運に「ロータリー米山記念奨学会」の奨学生の一員になることができ、非常に光栄に感じております。奨学金をいただいたおかげで、研究や就職活動に集中できるようになり、更なる研究に支障が無い範囲で、精一杯で就職活動をしました。また、奨学金だけではなく、クラブの例会に参加することを通して、「奉仕の精神」を理解することができました。ロータリアンの皆様及びカウンセラーの牧元さんのご期待に背かないように、是非、社会に役に立てる人間に成りたいという事を今後の人生の目標として頑張って、努力していきます。

第28回　都城ロータリー旗少年野球大会　報告

2015.9.21(月)

開会式

選手団入場

青少年奉仕　盛田　祐一 会員　開会宣言

吉田　　努 会長　挨拶

優勝旗　返還

都城市教育長
黒木　哲徳 氏　挨拶

ペットボトル
キャップを
たくさんいただきました♪

選手宣誓☆彡

閉会式

2015.9.27(日)

優勝!!
中郷野球スポーツ！！

準優勝!!
五十市タイガース！！

表彰式☆彡

おめでとうございます☆

理事長　松尾　裕司 氏　挨拶

メダル授与(*^_^*)

選手・監督・役員退場

都城西 RC と子供たちの交流試合は、天候不良のため残念ながら中止となりました(;_:)